

# ニノミヤ、検査棟新設

精密  
製造品  
品質保証体制を拡充

【名古屋】ニノミヤ（愛知県西尾市、二宮英樹社長、0563・35・0551）は、自動車向けを中心とする精密鑄造部品の機械加工と検査をする新棟「新検査工場」を本社工場に完成した。2019年1月に稼働する。関連設備を含め、投資額は5億4000万円。本社工場の隣接地で鑄造工場棟の増設も検討しており、品質保証体制を強化するとともに、将来の増産に備える。

新検査工場は2階建てで延べ床面積は約2700平方メートル。1階は仕上げの機械加工と出荷を担う。既存の工作機械を移設し、新規設備も追加した。2階には大半を女性に任せる



方針。同工程の女性は現在50人中4人だが、鑄造などの他工程が、鑄造などの他工程を設置した。男性仕様だった作業台の高さも変え、作業補助装置を追加するなど検査の作業環境も改善する。こうした工夫で従来より体力的な負担を減らし女性の採用を増やす。検査工程を作業

ニノミヤの「新検査工場」（愛知県西尾市）

者に優しい労働環境整備のモデルとし、成果は全工場の作業環境改善にも生かす。同社は精密鑄造品が主力で18年9月期の売上高は45億円。ターボチャージャー（過給器）向け、自動変速機向けなどの自動車部品が売上高の85%を占め、うち約80%が海外自動車メーカー向け。新検査工場では欧米向けで必須の自動車産業の国際品質管理規格「IATF16949」への対応力も強化しつつ、人材が確保しやすい環境を整える。